

平成 25 年度 第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会 会議録

1 日 時 平成 25 年 5 月 29 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 35 分

2 会 場 三条市役所 2 階 大会議室南側

3 議 題

- (1) 会長の選出
- (2) 副会長の選出

4 報告事項

- (1) 三条市農業活性化プラン 平成 24 年度実施状況及び進捗状況
- (2) 第 2 次三条市食育推進計画 平成 24 年度実施状況及び進捗状況
- (3) 第 2 次三条市農業活性化プラン 平成 25 年度実施計画
- (4) 第 2 次三条市食育推進計画 平成 25 年度実施計画

5 出席状況

(1) 出席委員

粟生田委員、上村委員、坂井委員、皆川委員、高野委員、高橋委員、星野委員、渡邊委員、小林委員、佐久間委員

(2) 欠席委員

金子委員、外山委員、歌川委員、岩崎委員、五十嵐委員

(3) 事務局職員

渡辺福祉保健部長

長谷川経済部長

健康づくり課 関崎課長、捧主幹、田村室長、阿部主査、大泉技師

農林課 大山課長、渡辺課長補佐、板垣室長、渡辺係長

(4) 傍聴者 なし

(5) 報道機関 なし

6 開 会 午後 1 時 30 分

事務局(捧主幹)	委嘱状の交付(渡辺部長から委員へ委嘱状を交付) 部長あいさつ 委員自己紹介、事務局紹介 ただ今から、平成 25 年度第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会を開催いたします。
----------	---

	<p>本日の出席は、定数 15 人のところ、出席 10 人、欠席 5 人で定数の過半数の出席であり、三条市食育推進及び農業振興審議会規則第 3 条の 2 に基づき、会議が成立しております。</p> <p>議題(1)「会長の選出」です。会長の選出は審議会規則第 2 条により、会員の互選によるとなっております。どのように取り計らったらよろしいでしょうか。</p> <p>(事務局一任の声)</p> <p>事務局案として、会長を前回に引き続き、栗生田委員にお願いしたいと考えております。いかがでしょうか。</p> <p>(しばらくして)</p> <p>ご異議ありませんので、栗生田委員に会長をお願いいたします。それでは、栗生田委員、席にお着きいただき、一言あいさつをお願いいたします。</p>
栗生田会長	<p>皆様の忌憚のない意見を引き出して、この会を盛り上げていきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。</p>
事務局 (捧主幹)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以後の議事について会長に進行をお任せいたします。</p>
栗生田会長	<p>議題(2) 副会長の選出です。副会長の選出についても委員の互選となっておりますが、いかがいたしましょうか。</p> <p>(会長一任の声)</p> <p>会長一任の声がありましたので、私から指名させていただきます。副会長は皆川委員にお願いしたいと考えております。いかがでしょうか。</p> <p>(しばらくして)</p> <p>ご異議ありませんので、皆川委員に副会長をお願いいたします。それでは、皆川委員、席にお着きいただき、一言あいさつをお願いいたします。</p>
皆川委員	<p>今年で 4 年目になります。食育の推進と農業の振興について委員皆様の意見が反映されるよう努めたいと思います。</p>
栗生田会長	<p>報告事項(1)「三条市農業活性化プラン 平成 24 年度実施状況及び進捗状況」について事務局の説明を求めます。</p>
事務局(渡辺課長 補佐)	<p>(資料No.1、4について説明)</p>

粟生田会長	「三条市農業活性化プラン 平成 24 年度実施状況及び進捗状況」について、質問も含めて御発言をお願いします。
粟生田会長	資料No.4 の評価は自己評価という解釈で良いか。○×△の意味について説明をお願いします。
事務局(渡辺課長補佐)	評価についてですが、主体及び客観的要素を加味して事務局で評価をしました。最後にご説明しました資料の達成状況から、達成されたと思われるものに○、不足と思われるものに△、改善が必要と思われるものには×をつけさせていただきました。
佐久間委員	資料No.4 の5 ページ一番下の項目、三条産の目印となるラベルシールですが、昨年度は 83 万枚のシールを配布し、マイレージ制度の景品応募に約 1000 口の応募がありましたと説明がありました。私としては少ない印象があるのですが、評価では○になっています。このことについてどのようにお考えでしょうか。
事務局(大山課長)	ラベルシールについては、三条産が分からないといった意見がありましたので、三条産品についてはラベルシールを貼って分かるようにしています。直売所やスーパーなどの小売店で貼ってもらい、消費者の方からも、手紙などでご好評を頂いています。ラベルシールは当初の予定より増刷しました。健康マイレージ制度と連動した景品応募の数が少ないとのご指摘がありましたが、実際にラベルシールからの応募数がどの位あったか把握していないのですが、今までより多くの応募があったと聞いています。
坂井委員	昨年も、農業者は自分の物を売り込むのは嫌だと話をした経過があるのですが、平成 24 年度の実績では平成 23 年度の倍くらいの米の消費が伸び、非常に効果があると思いましたが、操業面で難航しているようです。この原因について意見交換などを行い、さらに増やしてもらいたい。3 ページの一番上のところで、うまくて安心して安い、消費者のニーズだと思うので、それに少しでも近づけるようにいろいろと研究して、三条産米を売り込んでほしいと思います。
事務局(大山課長)	荒川区や調布市へ直接出向き、学校で出前授業を行ったり、教育委員会へ行って販売促進活動を行っています。特に荒川区の小学校では、出前授業で三条産の米ができるまでを教えて、三条産米を採用してもらっています。稲刈り体験とその米でおにぎりを作る等のピーアールをしていて、努力の成果が数値に見えてきたと思います。JA と流通コストを見直し、少しでも多く採

	用してもらうよう交渉していくつもりです。
栗生田会長	<p>それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p>
栗生田会長	報告事項(2)「第2次三条市食育推進計画 平成24年度実施状況及び進捗状況」について、事務局の説明を求めます。
事務局(阿部主査)	(資料No.3、6、6-1について説明)
栗生田会長	「第2次三条市食育推進計画 平成24年度実施状況及び進捗状況」について質問も含めてご発言をお願いします。
高野委員	<p>幼稚園、小学校、中学校、高校生と取り組んで成果が徐々に出ていると思いますが、管理栄養士による高校生への事業が大事だと思います。体作りが一番大事な時に、何を食べたらよいのか考えてもらわないといけない。アンケートで食生活を良くしていこうと思う生徒の目標は65%以上だが、もっと多くしていかなければならないと思います。勉強が忙しい時期で、食育事業をすることが難しいと聞きましたが、高校生の時にしっかりと何を食べたらよいのか頭に入っていないと、心配です。娘が保育所給食を作っている時に、アレルギーのある子どもがとても多くて、アレルギーの対応が大変だったと聞いていました。母親の意識もそうですが、子どもたちが大きくなった時にどうになってしまうか、危機感を感じていますので、高校生の頃の食育の話を本気でやってもらいたいと思っています。</p>
事務局(田村室長)	ご意見のとおりだと思っています。保育所から小中学校は、市の施設なので取り組みやすいです。県立工業高校では御理解をいただき、今までは授業のみでしたが、北陸ガスの協力を得て調理実習も行いました。県の栄養士会で似たような事業をしていた時もあったので、是非他の3校に広げていけるようにしたいです。
皆川委員	食生活を良くしていこうと思う生徒の目標は65%以上に対して、実際の回答60.5%は、意識が低いのではないのでしょうか。なぜ、目標が65%で、実際に60%位にしかならなかったのか、状況を教えてほしいです。県の栄養士会では、スマートダイエットキャンペーンをしていて、高校生に同じような

事務局（田村室長）	<p>事業をやっています。学校の方で手を上げてくだされば、講師を派遣することができますので、私たちも高校へピーアールしなければと思っています。あと、資料3の主食主菜副菜を揃えて食事をしている者の5歳児のところは、40%以下になっていますが、以上の間違いですよね。</p> <p>5歳児の指標は40%以下ではなく40%以上の間違いです。高校生の目標が65%のところですが、過去のデータからその位が目指せるところであろうと設定しました。高校生の授業について、担当者からは、机に突っ伏していたりそっぽを向いていたりする中でも、アンケートでは好ましい回答をしてくれていると聞いています。</p>
皆川委員	<p>それは、興味を示さないということですか。</p>
事務局（田村室長）	<p>興味がないわけではないと思います。スポーツをやっている生徒は、食事がスポーツや成績と繋がっているという話には興味を持ってくれているので、アプローチの仕方もあるのかなと思います。</p>
事務局(渡辺保健福祉部長)	<p>スマートウェルネスの基本的な考えでは、日頃から運動をして食事に気を付けている人は約3割しかいないという調査結果があって、約7割が健康への関心が少ないです。それを健康にすることは大変です。また、健診の受診率は上がらないが、健診結果を受けての相談会の参加率は上がっています。高校生たちも気づいてもらう、親たちに実践してもらうなどの取組をしていかなければならないと思っています。</p>
皆川委員	<p>他に比べて、よくやっていると思っています。やっていること自体は認めるのですが、子どもの食育は難しいのかなと思いました。</p>
星野委員	<p>地元の食材を積極的活用という中で、学校給食や保育所の地元産の農作物の使用率はどの位ですか。</p>
事務局（田村室長）	<p>重量では、約4割です。ただ、三条市の場合は、全ての給食の食材が調達できる状況にありません。牛乳や魚や調味料などは作れません。三条市内で作れるものでカロリーを分母にすると、約9割を超えています。品目でいうと、給食で使うものが約60品目ですが、三条産はその中の半分強の30~40品目を使っています。</p>
粟生田会長	<p>乳幼児期のいろんな事業をやっていて、お母さん方には好評だと思うのですが、出生率は他の自治体と比べて多いのか少ないのか、またお母さんたち</p>

	<p>にとって暮らしやすい街という印象があるのか、教えてほしい。</p>
事務局（田村室長）	<p>三条市が、他の自治体と比べて出生率が低いとか高いとかということはありません。暮らしやすい街づくりをしたいと思っていますが、変化についての結果も持っていません。</p>
栗生田会長	<p>是非、これだけのことをやっているということのアピールがあると良いのかなと思います。中と外と比べて初めて良い街だと分かると思うし、ずっと三条にいるとお母さんたちは当たり前になってくると思います。</p>
事務局（田村室長）	<p>給食がご飯であることとかその米が減農薬米や有機栽培米を使っていると聞いたお母さん方の中には、「三条っていいね」とか「三条市に住みたいですよ」という話を聞いたことがあります。御意見のとおり、三条市外や市内にピーアールしていきたいと思います。</p>
事務局（関崎課長）	<p>すまいるランドは多くのお母さんたちに利用してもらっており、すまいるランドの相談会にも多くの方が来てくれている状況です。中には、三条市外から来てくれているお母さんたちもいるので、そこでもピーアールを行っています。</p>
栗生田会長	<p>それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p>
栗生田会長	<p>報告事項（3）「三条市農業活性化プラン 平成 24 年度実施状況及び平成 25 年度実施計画」について、事務局の説明を求めます。</p>
事務局(渡辺課長補佐)	<p>（資料No.2、5、5-1について説明）</p>
栗生田会長	<p>「三条市農業活性化プラン 平成 24 年度実施状況及び平成 25 年度実施計画」について質問も含めて御発言をお願いします。</p>
高橋委員	<p>資料の 6 ページ目ですが、6 次産業はどんなシステムですか。</p>
事務局（渡辺係長）	<p>1 次産業の生産に、2 次産業の流通と 3 次産業の販売を農業者の経営の中に入れていこうという活動で、1×2×3 で 6 次産業ともじっています。6</p>

	<p>次産業を進めて所得を取っていきましょうという支援をしています。地産地消を含めて、6次産業化を進める法律があり、国が認定を行い、三条市では認定された方が2人います。簡単に言うと、自分なりのプランを作ったりとか事業者と連携して施設を作ったりするのに補助が付くとか。ハードルが高くて使いにくいというところもありますが、加工所や直売所への支援などもあります。</p>
高野委員	<p>トラックでふり売りをしている農家もいるのですが、三条市が応援している業者なのか分からないので、買う時に迷ってしまいます。</p>
事務局(大山課長)	<p>この事業について、三条市が応援している業者が分かるように、事業者にステッカーを貸与して街中で売ってもらえるように計画しています。今、ホームページで周知しているので、これからの事業だと思っていただきたいです。</p>
佐久間委員	<p>ふり売りの人もボナペティールシールを貼るのですか。</p>
事務局(大山課長)	<p>シールを貼ってもらえるように伝えていきたいです。</p>
渡邊委員	<p>下田の彩遊記に母が野菜や加工品を提供している。近所の方が、退職後に農家を志して、彩遊記に野菜を売りに出しています。若い方もいるかもしれませんが、定年後に農業を志す方が多くいられると知ったので、市の方でもバックアップしていただけたら張り合いや活気が出ると思いました。</p>
事務局(大山課長)	<p>その通りだと思います。県主催の野菜作りの講習会には、まもなく定年という方が多いと聞きます。また、下田での山菜栽培の講習会も盛況だと聞いています。作付け地も空いていますし、第二の人生で農業をすることも重要だと思うので、参考にさせていただきます。</p>
佐久間委員	<p>豆腐業界も継ぐ者がいない、農家もないということで、資料5-2ページの次世代農業教育事業は、将来的に農業に興味を持ってもらって充実させていこうという事業なのか、ただ単に理解をしてもらうものなのか、御説明をお願いします。</p>
事務局(大山課長)	<p>近くの農家の方に協力をしていただき、学校教育田の田植えや稲刈りを子どもたちが体験し、自分たちが食べている米がどうやって出来るのか理解をしてもらうという事業です。直接、後継者を育てるものではなく、農家のみ</p>

	<p>なさんとの交流も図っています。</p>
事務局（田村室長）	<p>関連して、食育の取組に資料No. 6の11ページに生産者交流会があります。保育所や小中学校に生産者の方に来ていただき、話をしたり質問を受けたり、給食を子どもたちと一緒に食べるなど、農に興味を持つ取組をしています。</p>
渡邊委員	<p>食育のことで、小学校によって取組が違うと思いますが、近くの学校では、豆腐作りや味噌作りをしています。これが三条市の全ての学校に広がっていければいいと思います。</p>
事務局（田村室長）	<p>実際には、佐久間委員さんから豆腐作りを教えていただいたこともありました。三条まんま塾の事務局が仲立ちをした経緯がありますし、子どもたちの職場体験に農家を希望した場合にも仲立ちをしていますので、学校の方にも紹介していただきたいと思います。</p>
坂井委員	<p>農業用水水質向上事業は、どんな事業ですか。</p>
事務局（板垣室長）	<p>下田地域にはきれいな水が流れていると思いますが、やはりおいしい水がおいしい農産物を作ると考え、農業用水がどうしたらきれいになるか勉強をしました。昨年、先生を招いて、二価鉄イオンを使って浄化するというのを勉強し、数人の農家の方が取り組んでみようとなりました。二価鉄資材をまいた場所に生き物が増えれば効果があると考えて検証しました。二価鉄イオンは鉄と墨の団子みたいなもので、実際にまいた下田一部の農業用水ではしじみが増えたというところがあり、効果が出てくればと思っています。</p>
小林委員	<p>去年に、使い捨てのカイロを集めて水をきれいにする取組をしていましたが、今年もしますか。また、目に見える効果はあったのでしょうか。</p>
事務局（板垣室長）	<p>NPOさんじょうと協力して行った事業です。主体はNPOで、今もカイロの回収を続けています。はっきりとした効果は見ていませんが、継続をする中で経過を見守っていきたいと思います。</p>
栗生田会長	<p>それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
栗生田会長	<p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p> <p>報告事項(4)「第2次三条市食育推進計画 平成24年度実施状況及び平成</p>

事務局（阿部主査）	<p>25年度実施計画」について事務局の説明を求めます。</p> <p>（資料6-2について説明）</p>
栗生田会長	<p>「第2次三条市食育推進計画 平成24年度実施状況及び平成25年度実施計画」について質問も含めて御発言をお願いします。</p>
上村委員	<p>学校食育所育推進事業について、先ほども話し合いましたが、小中学校は一律にやっているのはすばらしいと思うので、高校生への食に関する啓発活動も、すべての学校でやるべきだと思います。将来のことに繋がってくるし、この頃の感覚は重要だと思う。小中学生は親の影響もあるが、高校生にはあるべき食生活のイメージを作っていくのは重要である。</p>
事務局（田村室長）	<p>高校生も重要だと思っています。小中学生も小学校5年生と中学校1年生と理解の得やすい年代に対して重点的に取り組んでいます。保育所世代からの取組として、保護者への啓発も併せてやっているのですが、高校が県立であること、市外の生徒もいるなど、最後の決め手の高校では大きく関わることができません。市からだけでなく、医師会からも一緒にやろうと言ってももらえると更に働きかけやすいと思います。アンケートなどでの協力はしてもらえますが、今後も養護教諭等へ働きかけて、頑張って取り組んでいきたいと思っています。</p>
上村委員	<p>喫煙とアルコールも同じ問題なのですが、行政の関係でいうと、県立高校は関係ないのでは。一貫した活動になるようにお願いしたいです。</p>
事務局（捧主幹）	<p>私どもの弱いところは、高校生への働きかけと高齢者です。高齢者も25%を超えている自治体がいっぱいある中で、健康寿命を延ばしていく大切な取組を前提に、実態調査を予定しています。しかし、高校の場合は小中学校と違って、協力してやっていくという連携は、大変弱いです。ですので、みなさんの方で、取組み方についてアドバイスしていただけたら、ありがたいと思っています。</p>
高野委員	<p>県央工業には女の子は少ないと思うのですが、将来母親になる可能性が高いであろう女の子に目を向けてほしいです。昨年もお話したのですが、小中学校でやっている弁当の日の取組は、お弁当を作ったり食に興味を持ったりするなど、効果があると思います。学校の意向もあると思いますが、働きかけをしてもらいたいです。あと、まずは親の意識が変わらなければと思うの</p>

	で、親への働きかけや取組をお願いしたいです。
栗生田会長	子どもが変わると親が変わるということを知ったことがあるので、互いに良くしていければと思います。
高野委員	三条市の取組が素晴らしいのは分かるのですが、孤食は寂しくてみんなで食卓を囲んで食べることは楽しいと小さい時から身に付けていくと、作るのも食べるのも自然と身に付くし、とても大切なことだと思います。そうしないと心が育たないと思うので、忙しいと思いますが心がけてもらいたいです。
佐久間委員	高校生の取組が3年生というのは、なぜですか。
事務局（田村室長）	高校の授業カリキュラムに合わせています。家庭科的な取組があるのは、3年生のフードデザインという時間で、その時間を頂いて実施しています。
佐久間委員	高校3年生は受験があつて忙しいし学校が嫌がると思いますが、高校1～2年生なら踏み込めると思います。高校生は、肉が食べたい年頃で目の前しか見えていない気がするので、最悪の事案を発表して今の食生活を続けたらどうなるか、具体的に見せれば良いと思います。
事務局（田村室長）	血管や骨など、体の中に踏み込んで話をしています。時間も2時間頂いているので、食事が体に及ぼす影響等を話しているので、アンケートでの反応は良いです。
星野委員	保護者対象の食育講話は、女性がほとんどでしょうか。仕事が終わってから夜にするなど、男性や父親に向けたものもあると良いと思います。父親への食育もできるのではないのでしょうか。
事務局（田村室長）	実際に、お母さん方が多いです。参観日や給食試食会などに合わせて話をします。男性は、食生活改善推進委員の活動の男の料理教室になると多くの方が参加されるので、その辺から伸ばしたいです。
皆川委員	男の料理教室は公民館事業にも入っているのですが、栄養士会も入って調理実習や話をしています。公民館を活用してもらえると良いと思います。
栗生田会長	それでは、他になければ、以上で質疑を終了させていただきたいと思いま

<p>栗生田会長</p>	<p>すがいかがでしょうか。 (異議なし) 異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p> <p>予定されている議題は以上ですが、この他に御意見、御質問はありませんか。 (しばらく) その他、事務局は何かありますか。</p>
<p>事務局 (渡辺部長)</p>	<p>今日は、各委員の皆さまから活発な御意見を頂きまして、ありがとうございます。今日各委員さんにお渡ししている資料は役所的なものであり、やっているものはすべて出すという形をとっております。それでは、三条市としてどういったことを重点的に取り組んでいきたいのか、またはいくのかが、見えにくくなります。例えば、先ほど委員さんから頂いた高校生への取組に対する御意見や、社会をどうやって支えていくかということなどを、重点的に皆様にご審議いただく形に資料調整することが大事だと思います。また、これから関わる事業についても、秋の会議までには、事前に皆さまに資料をお送りして、目を通していただきたいと思います。今日はそういった意味では途中経過的な資料となり恐縮ですが、御理解願います。今後は徹底的に手法を改善しまして、審議していただきたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。</p>
<p>栗生田会長</p>	<p>以上で平成25年度 第1回三条市食育推進及び農業振興審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>

7 閉 会 午後3時35分